

緑区観光振興 プログラム



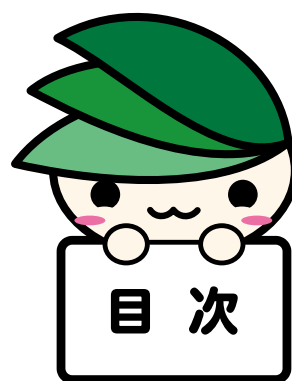
相模原市緑区役所

令和7年3月





緑区観光振興 プログラム



- 1 緑区観光振興プログラムの概要
- 2 緑区の観光における特徴と課題
- 3 緑区の観光振興の目標
- 4 緑区の観光振興に向けた取組
- 5 プログラムの推進

参考資料 観光に関するアンケート結果

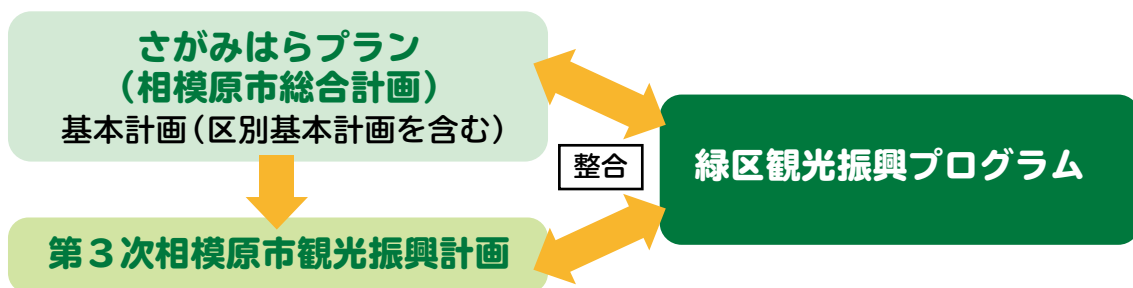
1

緑区観光振興プログラムの概要

緑区では、「さがみはらプラン（相模原市総合計画）」や「第3次相模原市観光振興計画」に基づき、地域活動団体等との連携・協働により、地域の資源や特性を生かした賑わいあるまちづくりに取り組んできました。これまでの取組を踏まえつつ更なる地域資源の掘り起こしや魅力を発信することで、誘客だけでなく、シティプロモーションや持続可能な地域づくりを進めるため、緑区観光振興プログラムを策定します。

位置付け

本プログラムは、「さがみはらプラン（相模原市総合計画）」や部門別計画である「第3次相模原市観光振興計画」等の関連する他計画等との整合を図り、策定するものです。



対象期間

令和7年度から令和9年度の3年間を対象期間とします。対象期間以降は、関連計画と調整の上、取扱いを定めます。



2

緑区の観光における特徴と課題



緑区の特徴

橋本・大沢・城山・津久井・相模湖・藤野の6つの地区で構成される緑区は、相模原市の特徴である「都市と自然のベストミックス」を特によく表しています。

区の東部は工業や商業などが集積しており、リニア中央新幹線の新駅設置に伴い、更なる交通の利便性向上が見込まれます。

一方、西部は、丹沢山塊の森林や津久井湖、相模湖、宮ヶ瀬湖など豊かな自然環境が広がっており、キャンプやハイキングのほか、釣りなどの魅力的なコンテンツも多数存在しています。また、津久井城跡や小原宿本陣、藤野芸術の家などの歴史・文化施設に加え、温泉や民間テーマパークなども立地しています。区内では、地域固有の伝統行事をはじめ、「橋本七夕まつり」や「さがみ湖湖上祭花火大会」などのイベントも数多く実施されています。



観光における課題

観光施設やトイレ、案内板などのハード面において、老朽化への対応やバリアフリー化、インバウンド対応が不十分であり、既存施設の更なる活用を含めた環境整備が求められています。

また、緑区は豊富な地域資源を有するものの、それらが広範囲に点在しており、スポットでの来訪に限られています。そのため、各コンテンツをつなげた周遊型観光を促し、相乗効果・波及効果を期待する取組が求められています。周遊ルートの作成にあたっては、これまでの視点に加え、リニア中央新幹線の新駅設置を見据え、橋本駅周辺を起点として区内各所へ誘導する取組も検討する必要があります。

情報発信においても、SNSの活用におけるマーケティングの視点などを持つことにより、認知度向上や誘客につながる区内外への情報発信力の強化が求められています。

3 緑区の観光振興の目標

緑区の特徴や課題を踏まえ、観光振興に関する基本理念及び橋本駅周辺地域・中山間地域の目指す将来像を次のとおり定めます。

基本理念

『都市と自然のベストミックス 緑区』

目指す将来像

橋本駅周辺地域



- ▶ リニア中央新幹線新駅の設置を見据え、橋本駅周辺からスタートする観光コンテンツづくりが推進されるとともに、緑区の観光の玄関口としての機能が強化され、都市部と中山間地域をつなぐ観光拠点となっている。
- ▶ 橋本駅から近距離にある里地里山や、相模川の親水性を生かした地域主体の観光コンテンツづくりが推進され、それぞれが連携し相乗効果が図られている。

中山間地域



- ▶ 都心から近距離にある豊かな自然や美しい景観を生かした体験・交流型観光の推進により、緑区の中山間地域の魅力が広く認知され、何度も訪れたくなるような地域となっている。
- ▶ 持続可能な地域づくりにつながる特色ある観光振興が進められている。

4

緑区の観光振興に向けた取組

取組の方向性

目指す将来像の実現に向け、本対象期間とそれ以降の期間に分けて取組を検討し、進捗状況などを踏まえて取組の方向性を更新していきます。

〈令和7～9年度〉

- 体験・交流型観光の推進
- 地域資源をつなぐ取組の推進
- 効果的な情報発信

〈令和10年度以降(中・長期)〉

- リニア中央新幹線新駅及び車両基地周辺の観光振興策の推進
- 都市部と中山間地域をつなぐ取組の推進
- 広域的な情報発信

目指す将来像

基本方針(令和7～9年度)

『地域の魅力を磨いて、つないで、発信する』

本対象期間では、目指す将来像に向け、地域の関係団体の皆様と点在する資源をつなぐことで生まれる相乗効果、波及効果を生むためにこの基本方針のもと取り組んでいきます。

みがく

【基本方針1】

地域資源を生かした
体験・交流型観光の推進

中山間地域振興モデル地区推進事業により、
地域資源の更なる魅力を創出します

観光施設等の環境整備や地域資源の
掘り起こし・磨き上げを進めます

つなぐ

【基本方針2】

都市と自然の魅力を活用し、
点在する地域資源をつなぐ
取組の推進

地域資源をパッケージ化し、
周遊型観光を推進します

関係団体等との連携を強化します

発信

【基本方針3】

マーケティングの視点をもった効果的な情報発信

ターゲットに応じた発信方法を選定し、
効果的な情報発信を行います

若い世代への認知度向上のため、
ICTを活用した情報発信を強化します

基本方針 1

地域資源を生かした体験・交流型観光の推進

【方向性 1-1】

中山間地域振興モデル地区推進事業により、地域資源の更なる魅力を創出します

青根地区

地域住民との対話を進め、エリアを軸にした観光振興に取り組みます。

緑の休暇村センター等利活用事業

施設の建替え等の適地選定、機能拡充、実施に向けた事業手法の検討等を行います。

旧青根中学校利活用事業

廃校となった旧青根中学校を有効活用した地域振興に取り組みます。

青根緑の休暇村いやしの湯を活用した誘客の推進

年間約9万人の来訪があるいやしの湯の更なる誘客を推進するため、施設老朽化に対応する中規模改修工事を実施します。



緑の休暇村センター



旧青根中学校



青根緑の休暇村いやしの湯

小原地区

県下に唯一残る本陣である小原宿本陣、資料展示を行っている小原の郷、リキュールの製造等で活用されている古民家の3つの拠点を軸にした観光振興に取り組みます。

小原の郷改修(リノベーション)事業

「地域と来訪者の交流の場」としての賑わいと交流を生み出し、道の駅のような機能を兼ね備えた地域活性化の起点とするため、機能拡充及び施設改修を実施します。

小原地域における体験プログラム実施事業

小原宿本陣で着物を着用しての写真撮影や間伐体験など、小原地域の歴史や自然を活用した体験プログラムを実施します。



小原宿本陣



小原の郷



古民家

【方向性 1-2】観光施設等の環境整備や地域資源の掘り起こし・磨き上げを進めます

観光施設等の環境整備

- 利用状況や損傷箇所等の現状把握を行いながら観光トイレ等の改修及び維持管理を行います。
- 道標の整備や多言語化などを実施します。
- ハイキングコースの草刈りなどの環境整備を行います。
- 相模湖観光案内所や藤野観光案内所の充実を図り、津久井地域への観光交流の入口としての機能強化を進めます。
- 丹沢山塊の雄大な自然への誘客のため、眺望地点や遊歩道、トイレ等の整備及び改修のほか、駐車スペースの確保などを進めます。

サイクルツーリズムの推進

東京2020オリンピック競技大会における自転車ロードレース競技のコースが緑区内に設定されたことを契機として、自転車を活用した観光振興を進めます。

- サイクリスト向け冊子及びWEBサイト「Slowly Cycling Field」やSNS等により、サイクリングコースやサイクルラックを設置している飲食店等の情報発信を行います。
- e-bikeを活用した城山地区の里山を散策するツアーについて、商品化に向けたモニターツアーを実施し、他地域を含めた自転車の活用による周遊型観光の可能性の検討を進めます。(協働提案事業)



ハイキングコースの充実とハイカーの誘導

- ハイキングコースやトイレの整備を進め、快適な登山環境を整備します。
- 各地域で作成しているハイキングマップについて、関係団体等と調整の上、利便性向上のための集約等について検討を進めます。
- 関東百名山の一つである石老山をはじめとした区内の山々について、手軽に登ることができるコース提案等の魅力発信を行うことにより、日帰りハイカーや登山初心者呼び込みます。
- コースの充実及び魅力発信により、高尾山からのハイカーの誘導に向けた取組を進めます。

近隣自治体との連携

- 隣接する八王子市や上野原市などとの情報交換により、広域連携を図ります。
- 「八王子いちょう祭り」や「桂川フェスティバル」等の各イベントにおける特産品の販売や観光パンフレットの配布などを通して、相互に魅力をPRし誘客につなげます。
- リニア中央新幹線の車両基地の観光への活用について、交通事業者等の関係団体や地域、近隣自治体と連携して検討を進めます。

基本方針 2

都市と自然の魅力を活用し、点在する地域資源をつなぐ取組の推進

【方向性 2-1】地域資源をパッケージ化し、周遊型観光を推進します

緑区マップの作成

- ・緑区への観光のきっかけとなるような、代表的なスポットを掲載した観光に特化した区内全域のマップを作成し、誘客につなげます。
- ・区域に限らず、隣接する自治体の情報も含めた内容とし、区外においても配布します。

デジタルスタンプラリーの実施

- ・区内各所の魅力的なスポットの周遊を目的とし、緑区特設サイト「すもうよ緑区」と連動した訪問型のデジタルスタンプラリーのイベントを継続実施します。



周遊性向上事業の実施

- ・津久井城跡が残る城山について、県立津久井湖城山公園と連携し、歴史を切り口にしたストーリー化及び効果的な情報発信を行うことで、観光資源として生かします。
- ・和田の里などで実施しているグリーンツーリズム事業を通じ、相模湖地区と藤野地区に広がる相模湖から北側のエリアを一体的に捉えることにより、回遊性を高め、地域の活性化を進めます。
- ・コースの充実及び魅力発信により、高尾山からのハイカーの誘導に向けた取組を進めます。
(再掲)

【方向性 2-2】関係団体等との連携を強化します

緑区の観光振興推進体制の構築

- ・地区間の連携強化のため、観光協会や商工会議所、商工会等との意見交換の場を設けます。
- ・緑区として一体的かつ効果的に観光振興を推進するため、協議会等の設立を検討します。

大学等教育機関との連携強化

- ・若い世代の視点で緑区内の地域資源の掘り起こしを行い、同世代をターゲットとした情報発信を行うなど、教育機関と行政が連携して取組を行います。
- ・若い世代が地域で活動する主体的なプロジェクト等を支援します。
- ・区内で行われているイベント等について、より活気があり魅力的なものとなるよう、若い世代の担い手確保に向けた検討を行います。

基本方針 3

マーケティングの視点を持った効果的な情報発信

【方向性3-1】ターゲットに応じた発信方法を選定し、効果的な情報発信を行います

SNSの効果的な活用

- 緑区イメージキャラクター「ミウル」のSNSアカウント等により、区内の地域情報、四季折々の風景や観光スポットの写真などをタイムリーに発信します。
- 「橋本七夕まつり」や「さがみ湖湖上祭花火大会」などのイベントや各地域の伝統行事などを効果的に情報発信し、地域の活性化につなげます。
- 地域の情報を発信している方々との相互連携により、区内外への情報発信を強化します。



ミウル X・Instagram

情報発信に関する研修会、勉強会の実施

- 発信したい観光コンテンツのターゲット（年代、居住地等）を見極め、その属性に応じた発信方法を適切に選択できるよう、研修会などを通じてスキルアップを行います。

【方向性3-2】若い世代への認知度向上のため、ICTを活用した情報発信を強化します

モデルコース等を掲載したデジタルマップの作成

- 【方向性2-1】の「緑区マップ」と連動したデジタルマップを作成し、各スポットの詳細情報や区内の魅力的な地域資源をつないだモデルコース等の情報を掲載することで、紙媒体からデジタルへの誘導を図り、さらに充実した情報発信を行います。

緑区特設サイト「すもうよ緑区」の充実

- 掲載するコンテンツの充実を図り、各観光協会等が保有する情報も併せて発信します。
- サイト内の検索性の向上を図り、必要な情報へ到達しやすくします。
- SNSとの連動によりPV数の増加を図ります。

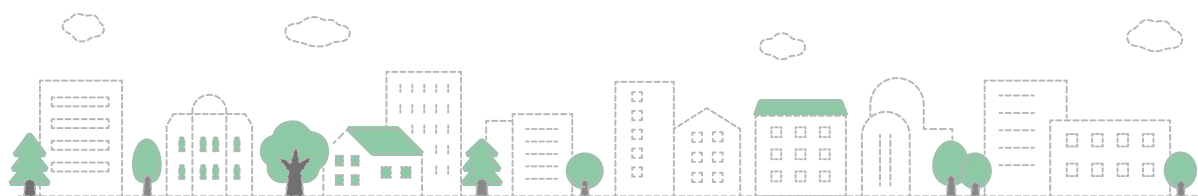
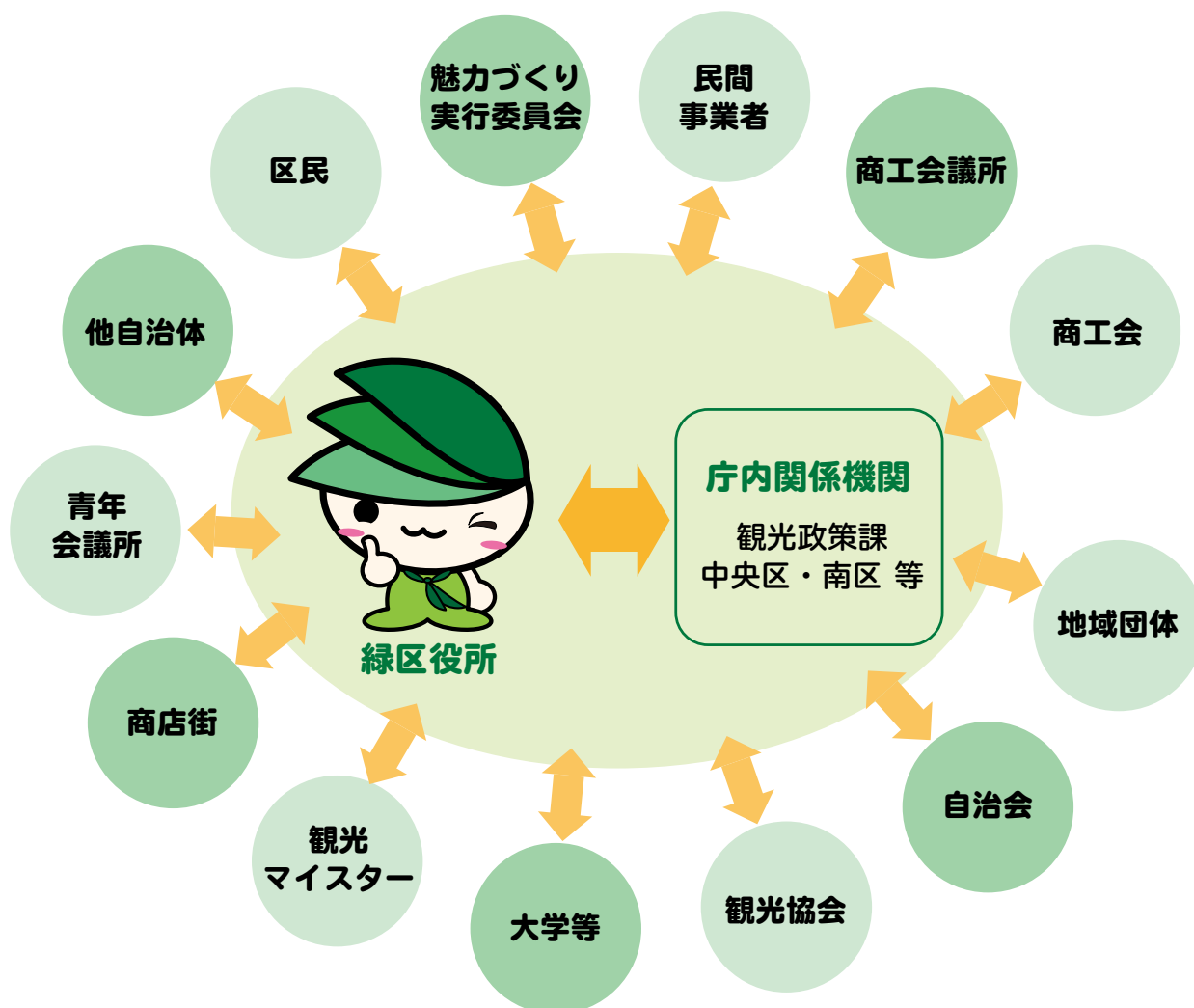


5 プログラムの推進

本プログラムを推進していくために、行政と区民、観光協会、商工会議所、地域団体などが互いに密に連携を図り進めていきます。また、緑区・中央区・南区の観光資源を繋いだ「交流・周遊型の観光」に取り組んでいきます。

事業の進捗管理については、PDCA サイクル（Plan-Do-Check-Act cycle）により、取組を継続的に改善していきます。

緑区観光振興の推進体制



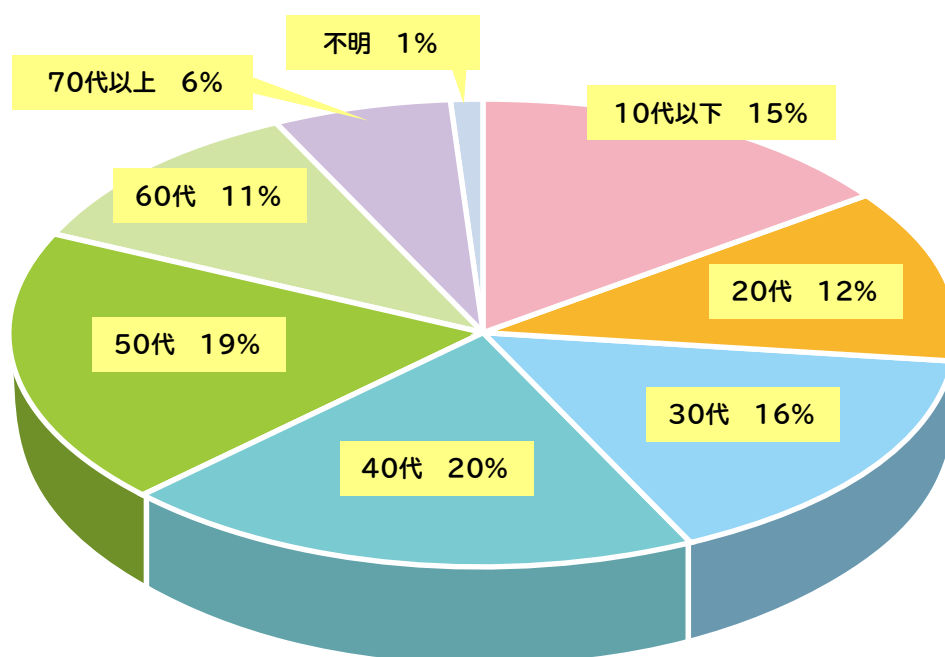
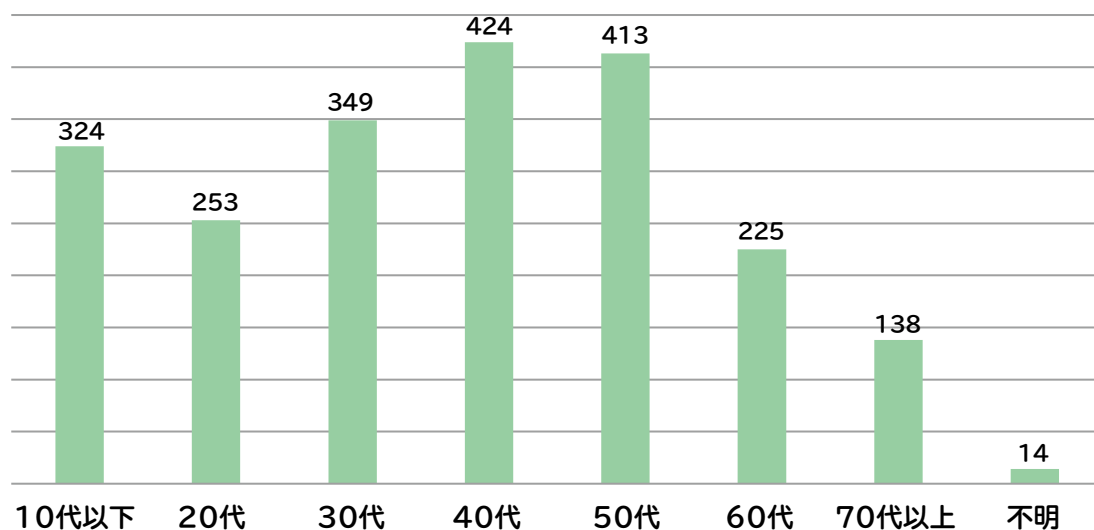
(参考資料) 観光に関するアンケート結果

実施期間：令和6年10月15日～11月30日
回答数：2,140名(WEB 1,981名 / 紙 159名)
※緑区誕生15周年記念ロゴマークの投票と併せて実施



あなたの年代は？

(n=2,140)

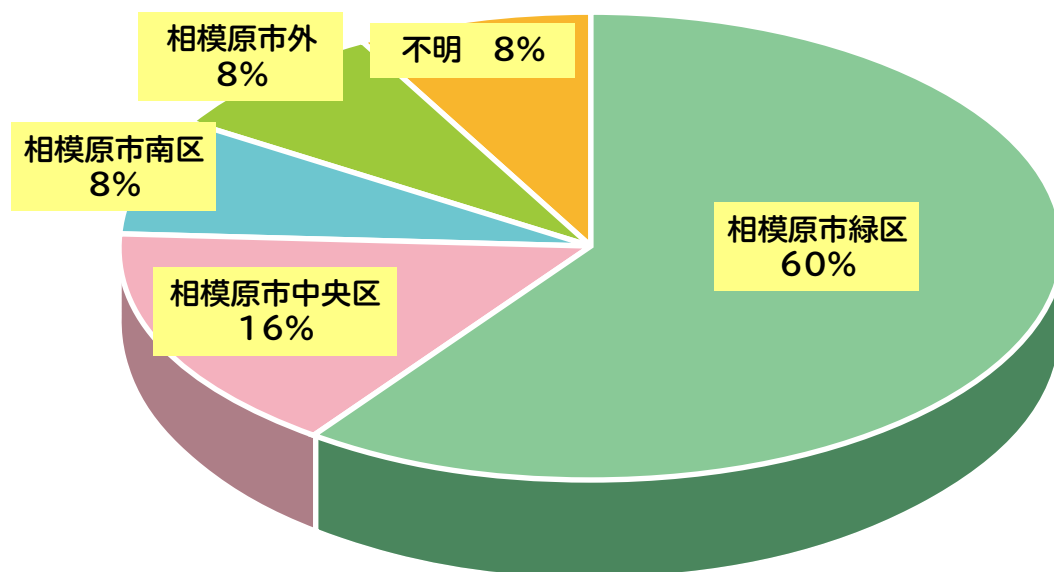


(参考資料) 観光に関するアンケート結果



あなたの居住地は？

(n=2,140)



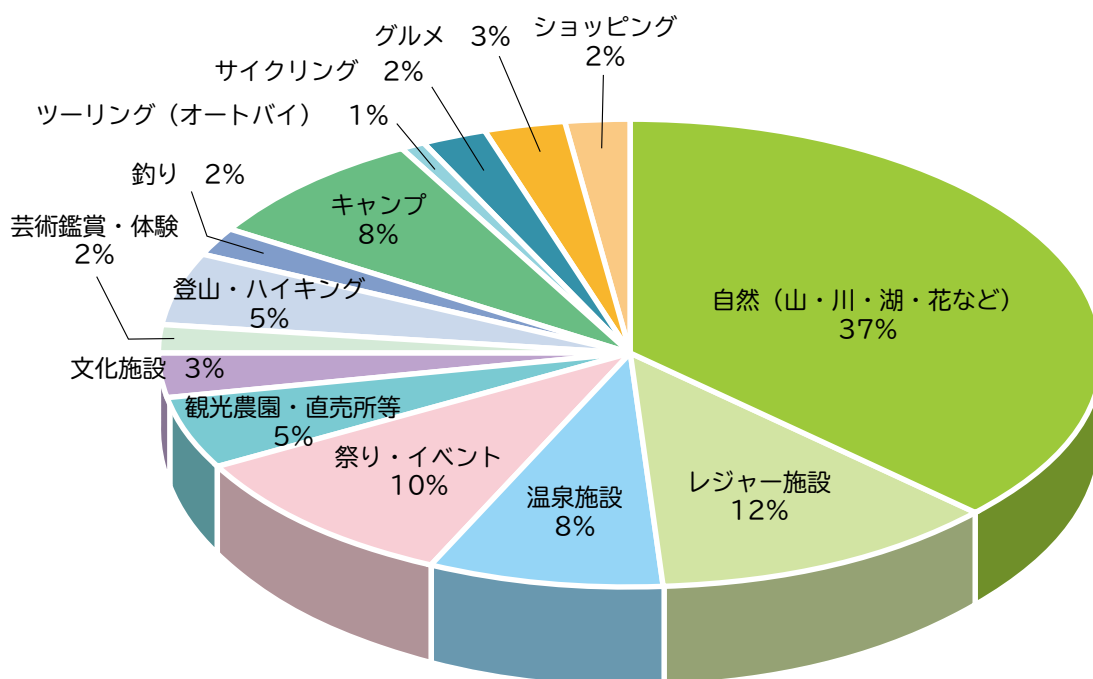
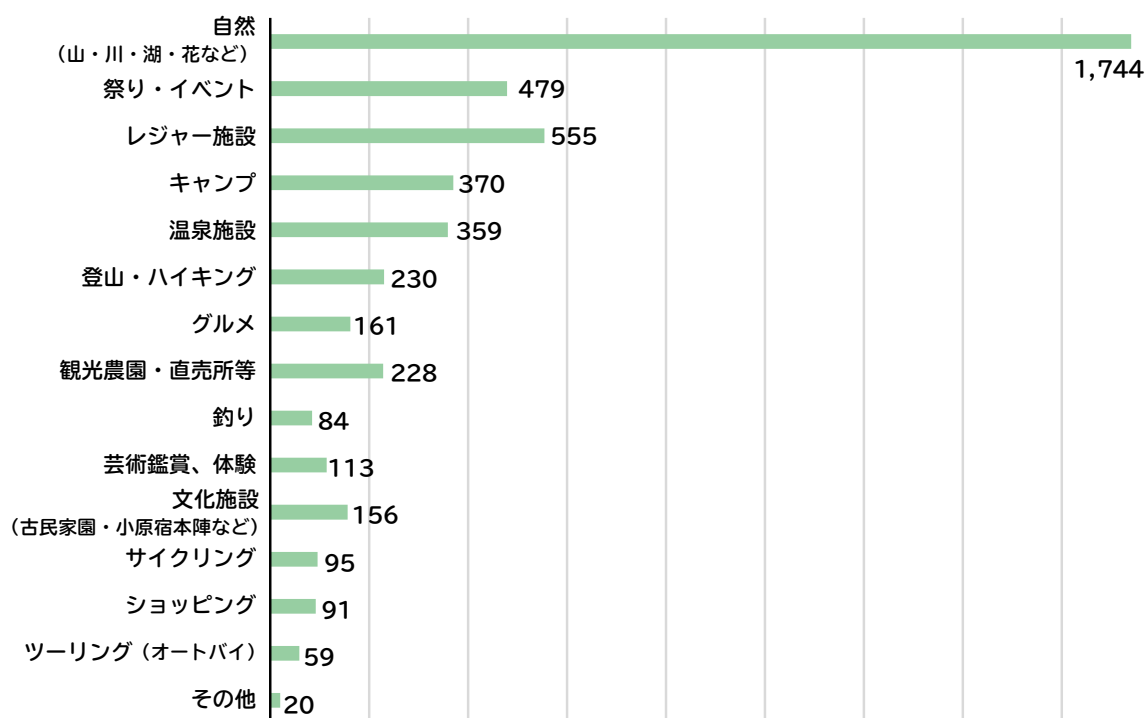
(参考資料) 観光に関するアンケート結果



おすすめしたい緑区の観光コンテンツは？

(3つまで選択可)

(n=4,744)



(参考資料) 観光に関するアンケート結果

おすすめしたい緑区の観光コンテンツ 年代別順位

(n=4,723)

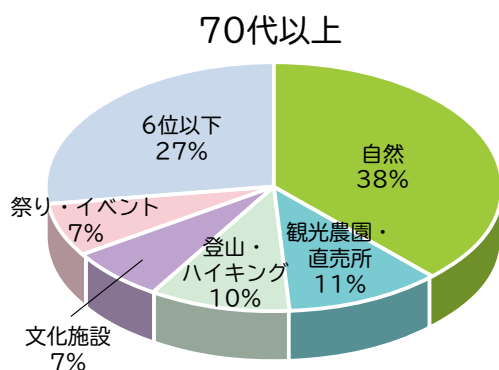
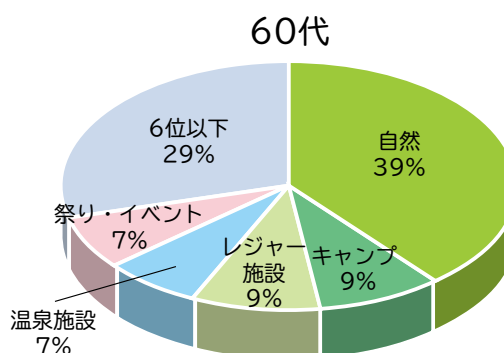
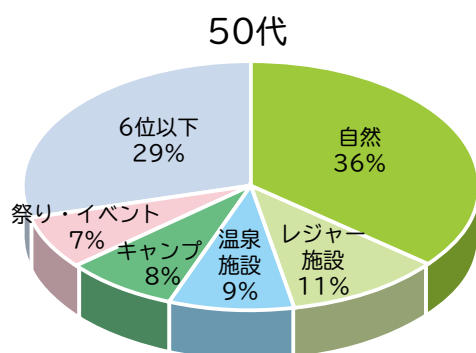
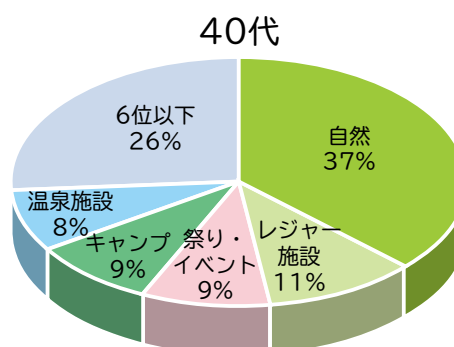
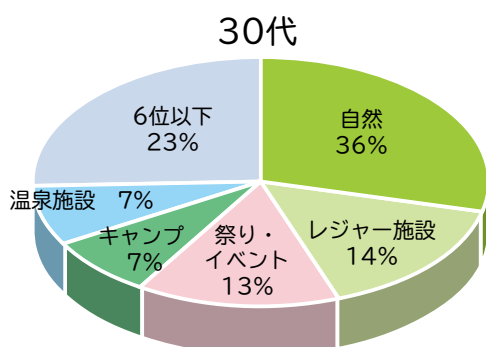
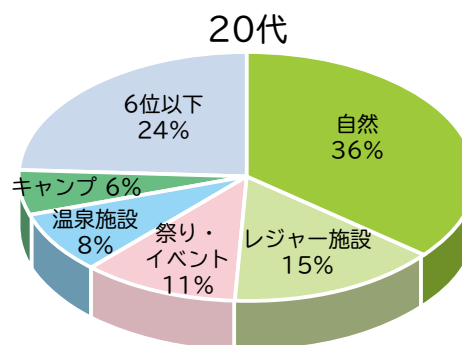
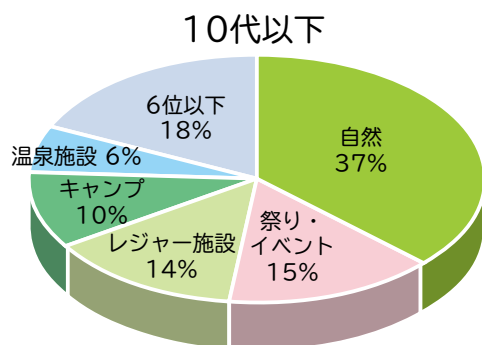
	10代以下 (n=691)	20代 (n=549)	30代 (n=785)	40代 (n=982)	50代 (n=909)	60代 (n=510)	70代以上 (n=297)
1位	自然	自然	自然	自然	自然	自然	自然
2位	祭り・イベント	レジャー施設	レジャー施設	レジャー施設	レジャー施設	キャンプ	観光農園・直売所
3位	レジャー施設	祭り・イベント	祭り・イベント	祭り・イベント	温泉施設	レジャー施設	登山・ハイキング
4位	キャンプ	温泉施設	キャンプ	キャンプ	キャンプ	温泉施設	文化施設
5位	温泉施設	キャンプ	温泉施設	温泉施設	祭り・イベント	祭り・イベント	祭り・イベント

- いずれの年代においても緑区の有する山・湖・川などの「自然」を最もおすすめしたいとしている。
- 年代により多少異なるが、「自然」に続き、概ね「レジャー施設」、「祭り・イベント」、「キャンプ」、「温泉施設」の順におすすめしたいとしている。
- 70代以上では、他の年代と異なり「観光農園・直売所」、「登山・ハイキング」、「文化施設」をおすすめしたいとしている。



(参考資料) 観光に関するアンケート結果

年代別 1位から5位までの割合



■「自然」はいずれの年代も4割弱がおすすめしたいとしている。

■70代以上を除き、「レジャー施設」「祭り・イベント」「キャンプ」「温泉施設」をそれぞれ1割前後がおすすめしたいとしている。

(参考資料) 観光に関するアンケート結果

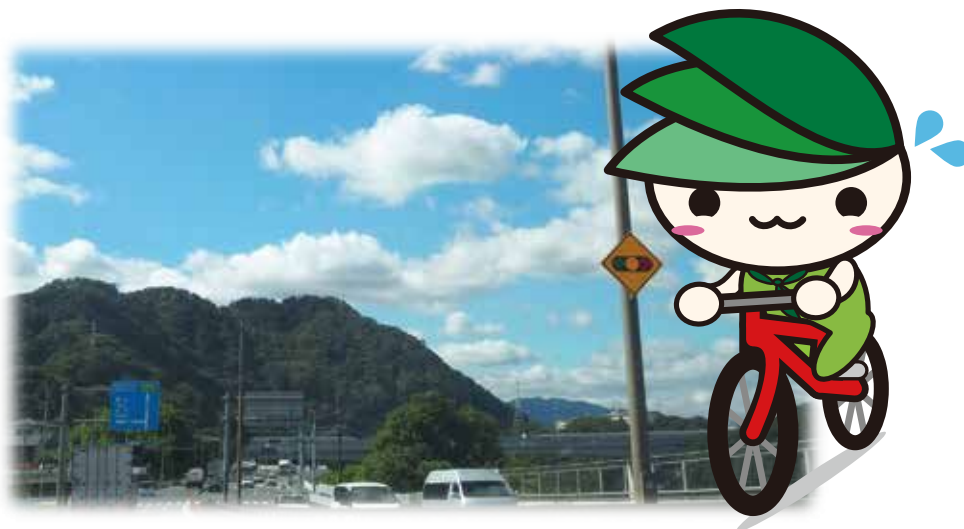
おすすめしたい緑区の観光コンテンツ 居住地別順位

(n=4,320)

	緑区 (n=2,783)	中央区 (n=775)	南区 (n=380)	市外 (n=382)
1位	自然 (37.8%)	自然 (36.6%)	自然 (37.1%)	自然 (36.1%)
2位	祭り・イベント (11.7%)	レジャー施設 (15.0%)	レジャー施設 (15.3%)	レジャー施設 (14.9%)
3位	レジャー施設 (10.7%)	温泉施設 (9.8%)	温泉施設 (12.4%)	祭り・イベント (8.9%)
4位	キャンプ (8.0%)	キャンプ (7.6%)	キャンプ (6.8%)	温泉施設 (6.8%)
5位	温泉施設 (6.2%)	祭り・イベント (6.3%)	祭り・イベント (6.1%)	観光農園・直売所 (6.8%)

■緑区、緑区外居住者のいずれも4割弱が「自然」をおすすめしたいとしている。

■緑区外居住者の2位はいずれも「レジャー施設」で15%前後がおすすめしたいとしている。







緑区観光振興プログラム
緑区役所 令和7年3月